

2018 年上半期中国の越境 EC 市場事情

岡山県上海事務所

2018 年の 6 月末までの中国インターネット利用者は 8 億人を突破したと報道されました。人々が日常的にインターネットに触れる機会が増え、中でも EC 市場が特に発達している中国では、近年「安さ」よりも「品質」を重視する傾向が強まり、国内の製品では満足できないユーザーは必然的に海外製品の検索に流れ、越境 EC の利用者が年々増加しています。

中国の調査会社が発表した「2018 年上半期中国越境 EC 業界レポート」では、2018 年の中国越境 EC 市場規模は 9 万億元（約 147 兆円、18 年 8 月 30 日レート計算）と予測しています。

国別人気ランキングを見ますと、日本が 1 位、以下は韓国、アメリカ、フランス、ドイツと続きます。日本や韓国製品は主にスキンケア商品が人気で、欧米製品で人気が高い商品はベビー用品です。

ユーザーはプラットフォームの提唱する「本物保証」への関心が高く、中国国内では多くの偽物が出回っているため、「本物保障」は越境 EC プラットフォームの大きな課題の一つとなっています。

現在、中国消費者の収入の増加とともに、越境 EC の商品に対する要求も日々高まっています。商品の価格だけを見るのではなく、品質と安全性、そして流行などの要素も考慮して買い物をしています。

要求の質が高くなった中国消費者の要望に応じるため、各プラットフォームも出品する商品の品質保証や、購入ルート of 拡大などを強化することに一層注力して行く姿勢を見せています。

中国の消費者は積極的により良いと思えるサイト、商品を利用していきます。越境 EC を考えられている企業の皆様も日本での知名度だけでなく、最新の中国市場を考慮し、自社商品のターゲット層を分析して出展サイトを選ぶこと、またスピード感のある展開が重要となってきます。